

## 第8回須坂新校再編実施計画懇話会

日時：令和4年12月13日（火）

18時～19時30分

会場：須坂市生涯学習センター 3階 ホール

<次 第>

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

（1）「第7回須坂新校再編実施計画懇話会」まとめ

（2）学びのイメージ（修正素案）の説明

（3）学びのイメージ（修正素案）に関する討議

4 その他

<次回の予定>

（1）第9回須坂新校再編実施計画懇話会

（日時） 令和5年1月中を予定

（会場） 須坂市生涯学習センターを予定

（内容） 新校の学びのイメージについて 等

5 閉 会

## 第7回 須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

<b>日時</b>	令和4年11月15日(火) 18時00分～19時30分		
<b>場所</b>	須坂市生涯学習センター 3階 ホール		
<b>出席 (敬称略)</b>	新井 隆司, 藤沢 敏和, 小林 雅彦, 春原 博, 神戸 佳代, 浅井 洋子, 霜田 剛, 半田 志郎, 坪井 育美, 鈴木 勝, 島田 千春, 新井 孝之, 中坪 成海, 二ノ宮 邦彦, 大宮 透, 畔上 大空雅, 内田 陽菜, 丹下 駿, 望月 梨々音, 宮尾 悟良, 山岸 暢, 羽山 功, 小林 英司 (以上23名)		
<b>欠席 (敬称略)</b>	三木 正夫, 久保 正直, 坪井 扶司夫	<b>傍聴者</b>	4名
<b>事務局</b>	須坂東高校	宮下 教頭(副事務局長), 嶋田 教諭, 酒井 教諭, 山岸 教諭, 高坂 教諭	
	須坂創成高校	峯村 教頭(事務局長), 小林 教諭, 柳澤 教諭, 山口 教諭, 辻 教諭	
	県教育委員会	山岸 主幹指導主事, 高野 課長補佐, 有坂 主任指導主事	
<b>当日資料</b>	次第, 第6回須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案), 学びのイメージ(素案), ここまでに出された意見		

### 会議事項

- (1) 第6回須坂新校再編実施計画懇話会のまとめ(案)について
- (2) 学びのイメージ(素案)の説明
- (3) 学びのイメージ(素案)に関する討議

### 構成員から出された主な意見(要旨)

<グループ討議前>

○もう少しイメージのわく具体例、新校の新しい学びとしてイメージのわきやすい言葉、中身が示されないか。

<グループ討議で出された意見>

○追加・修正してもらいたい事項

- ・生徒目線と大人目線の言葉が混在しているが、生徒目線で分かりやすい言葉づかいに統一してほしい。
- ・普通科の学びがイメージしにくいので工夫が必要。普通科の名称を「未来創造科」などにできないか。
- ・生徒会活動や部活動についても取り入れてほしい。
- ・イメージがぼやけている。今までの懇話会の議論の積み重ねがうまく反映されていない。
- ・普通科生徒と専門科生徒と一緒に学べるのが統合のメリットなのでそれを入れ込んでほしい。
- ・新校の普通科の特徴は、探究の時間に学びたいものを、外に出て自分で学びに行くことにある。
- ・ワクワク感が感じられない。もっとそれが感じられるものをつくってほしい。

○全体討議の中で取り上げてほしい事項

- ・大学のゼミ学習方式で普通科、専門科合同の学習を取り入れる。小中高の合同学習や合同部活も。
- ・学校のクラス数(各学科のクラス数)がわかるとよりイメージが湧く。

○その他

- ・「生涯学習の拠点」について、教員がどういったものかイメージを持てるのか。
- ・ワクワク感を入れるということについて、これは全体イメージなので、この中に入れるのは難しい。次の段階でそれを作っていくのがよい。

### その他

#### 【次回】

日時：令和4年12月の実施を予定

会場：須坂市生涯学習センター を予定

内容：新校の学びのイメージについて(修正素案)

第7回須坂新校再編実施計画懇話会(2022.11.15)

「須坂新校学びのイメージ素案」に対する意見(須坂市)

## 1 地域密着型の探究的な学びを進めるために

- ① 創造工学科のデュアルシステムを全学科で実施する。
- ② 生涯学習の拠点として、地域のリカレント教育を充実させる。地域の方々と共に学ぶ良さを体現するためのカリキュラムや校舎設計を工夫する。
- ③ 地域で活躍する人材や学びの場に高校生も集い、協働する活動に参加することを通して地域をより深く知るだけでなく、活動を通して自己有用感の醸成にも資する。

## 2 自主的・主体的な生徒を育成するために

遠藤守信先生の言葉(「21世紀の人づくり～未来への約束～」 雑誌「信濃教育 R4, 5月号」より)

【 AI時代の教育で育てたい資質 】

- ① 社会技能＝社会の中で自立して主体的に、かつ人との協調を保って生きるために必要な能力
- ② 創造力＝質問すること・疑問を持つこと・常に問いかけること、が創造力を高める基本
- ③ 観察力＝観たいものを見るのではなく、そこに何があるかを観よ！先入観にこだわらない物の見方が大切
- ④ ボランティア精神＝「これからの社会は、人々の奉仕する気概の多寡が真に豊かな地域、国家の指標になることでしょう。本物のボランティア精神は深いところから人間をととても綺麗にしています。」
- ⑤ 褒めて伸ばす教育の重要性  
「褒めるときは、頭がいいなど子どもの保持能力ではなく、努力して頑張った過程を評価すると、勉強でも一層の挑戦心が生まれて知能指数すら伸びたのです。」

- ⑥ 学科間連携の機会を多くして、自ら求める姿勢を育む。

自分の課題解決に必要な学びの窓口を多くし、人・もの・こととの出会いのチャンスを広げる。

- ⑦ 部活動等を充実させるために、地域との協働によってスポーツや文化芸術を通して自己実現をめざす姿を支援する。

## 3 キャリアデザイン力を育むために

- ① 大学との連携を強化し、進学先の見通しを持ちやすくする。  
・単位制を導入して自分の進路を自ら見つけ、学科・学年を超えた学びや地域での探究活動の成果が、大学への入学につながるような工夫をする。
- ② 各科共通科目を設定し、様々な職業選択に資する。  
・統計学・心理学・デジタル・経営学・簿記等を学ぶ。
- ③ 国際交流の足がかりをつくる。  
・実践的な英語力を取得するために、ネイティブ英語のオンライン授業を行う。  
・他国との日常的な交流を進める。
- ④ 異年齢による学び合いを重視する。  
・上級生から学ぶ、下級生に教えることから学ぶ等、互いに刺激し合いながら学びを深める。

## 4 多様性が生きる学校にしたい。

- ① 単位制(再掲3①)自分のペースで学ぶことができる。
- ② 地域との学び合い(再掲1②③)
- ③ 心身の悩みに応え、再びやる気に火をつけるためのカウンセリング機能を充実させる。
- ④ 部活動やボランティア活動などを通して、伸びる力がさらに伸びる活動を充実させる。

## 5 学校間連携を進めたい。

新校と須坂高校間で、合同授業や合同部活動などを行い、自ら選ぶ学びの充実を図る。

《実社会の課題と向き合い、地域を学びの場に成長し続ける高校》

育てたい生徒

- 探究的な学びをとおして、課題発見・解決能力を育み、自分の未来をデザインできる生徒
- 学びあいをとおして、他者や社会と主体的に協働できる、コミュニケーション力を持った生徒
- 多様な他者とつながり、新たな価値を生み出し、実現のために挑戦し続ける生徒

新校での学び

学科・学年を超えた学びを実現する「単位制」  
 地域を学びの場とした探究活動  
 学びと未来をつなぐキャリアデザイン  
 生徒の主体性を育む自主活動の充実

専門科（総合技術）

総合技術×新たな普通科

みらいデザイン科（仮称）

自分と地域の未来を創造する学びを展開  
 各科の学びの成果をもとに協働的な研究を実施

- ・コース制による専門性の深化
- ・学科連携による専門性の拡充
- ・農業科：持続的な生産活動と緑豊かな環境を創造
- ・工業科：ものづくりの感性を磨き創造力を培う
- ・商業科：ビジネススキルを学び新たな価値の創造

- ・学校内外でのすべての学びを、学校設定科目「みらいデザイン」と「総合的な探究の時間」で探究活動に集約
- ・探究活動を利用した「総合型選抜試験」に重点をおいた進学指導
- ・専門科目を含めた履修による幅広い進路選択の実現

農業・工業・商業などの専門的な視点

芸術・歴史・福祉・国際などの視点

- ・他の単位制高校の授業が履修可能
- ・校外学習、校外活動の単位認定（ボランティア、大学の講義、国際交流など）
- ・全学科でデュアルシステムを実施（校外での実践的な学び）
- ・幼保小中（異年齢）との交流学习（探究発表会、新校産業フェア、出前講座など）
- ・校内にとどまらない生徒会活動（生徒会のネットワークづくり）
- ・地域との連携・協働による持続可能な部活動の運営・整備

地域の人々と共に学び、地域の未来を共に創る

- 企業、自治体、大学、研究機関、関連団体等で構成する連携会議の設置
- 学校と地域をつなぐ「地域連携コーディネーター」の常駐
- 地域との協働による生涯学習の拠点づくり

## 須坂新校 再編実施計画に係る学校像について（これまでに出了された意見）

	協議会からの意見・提案	再編・整備計画【二次】	第7回懇話会までに出了された意見	両校からの意見
育てる生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高い志を持ち、自ら自分の進路を切り拓いていく生徒</li> <li>○ 地域の良さを知って、地域の活性化に貢献できる生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域課題と向き合い、納得解を導き出す力や論理的に分析・思考する力、新しい価値を発想・創造する力を持つ生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集団適応、コミュニケーション力が高い生徒</li> <li>○ 自分で考えて自分で動ける生徒（主体性、自律性、自主性）、目標・目的をしっかり持っている生徒</li> <li>○ 自分の未来を自ら形成する人間力を持つ生徒</li> <li>○ 自ら意思決定して行動できる生徒</li> <li>○ 自分の力で課題を発見し、解決できる生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に学習に取り組み、実社会の課題と向き合い、未来を創造する力をもつ生徒</li> <li>○ 予測困難な社会を生き抜くため、課題発見解決能力をもつ生徒</li> <li>○ 他者との協働・コミュニケーションを図り、未来を切り拓いていく力を持つ生徒</li> <li>○ 自らのキャリアをデザインできる生徒</li> </ul>
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな人が集まり様々な議論を展開し、創造的な新しい発想や価値を生み出す学校</li> <li>○ きめ細やかな進路、学びのコースがある「総合技術高校プラス普通科」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しいタイプのコミュニティデザイン高校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交流授業や学校生活の中で異なった考え方のの人々と交流し、新たな価値を生み出せる学校</li> <li>○ 多様な分野を知り、つなぎ、新たな価値を生み出せる、人やアイデアをつなぎ、新たな価値を生み出せる学校</li> <li>○ いろいろな人とつながる、いろいろなことを学ぶ、研究するのは楽しい、ということを楽しむ高校。高校は生涯学習の出発点</li> <li>○ 時代の変化に対応でき、新しいことを取り入れることができる学校</li> <li>○ 生徒が自ら目的・目標を持ち、生徒自らが育つ学校</li> <li>○ 生涯学習の拠点となるような学校</li> <li>○ 生徒のキャリアデザインをサポートできる学校</li> <li>○ 主体的な経験ができる場面を数多く用意した学校（部活動・生徒会活動以外にも）</li> <li>○ 育てたい生徒が決まれば、目指す学校像が見える</li> <li>○ 目指す学校像は不変のものではなく、時代の要請により変化するもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門学科と普通科の連携や他者との協働から新たな価値を生み出し、未来を創造していく力を育む</li> <li>○ 地域をフィールドとした探究的な学びを実践し、課題発見解決能力を育む</li> <li>○ 学科・教科の横断や地域連携を取り入れた新しい学びをとおして、キャリアをデザインする力を育む</li> </ul>
学カリ・キュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今までの普通科の学習領域にとらわれない特色ある魅力的なカリキュラム</li> <li>○ 実践的な就業体験をものづくり産業以外に拡大・充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合技術高校と新たな普通科（地域課題に着目した実践的な探究活動に取り組む学科）の特徴を活かし、ここの生徒の可能性と能力を引き出す新たな学びのシステムの構築</li> <li>○ 大学や地域との連携・協働や先端技術の活用により、地域を創造し続けるための新たな学びの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 週の1日は探究に使えるなど、まとまった時間の中で自分の興味を深掘できる時間を持つ。興味あることを思いきりできるという環境は強み</li> <li>○ 普通科の生徒が選択科目として他の専門学科の単位が取れるようにすることと、普通科でのデュアルシステムの実施</li> <li>○ IT、情報システム、プログラミングを学べる学科があるとよい</li> <li>○ 学年を超えたコミュニケーション、学年間の連携を進めた学習活動、異年齢での学び</li> <li>○ 地域課題を解決できる探究的な学びができる学科間連携、地域の課題は地域の資源</li> <li>○ 専門的な学びを多くの生徒が共有し、様々な科目が選択できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学科・教科の枠を超えた探究的な学び</li> <li>○ 地域をフィールドとした探究活動</li> <li>○ ICTの活用とコース制による専門性の深化</li> <li>○ 学科間連携の充実</li> </ul>
地域連携・シ・アム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元企業と深く結びつき、実学の部分を企業が担い、地元で育てたい生徒を地元が育てる</li> <li>○ 地域（市町村）とパートナーシップ協定や連携協定を結ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元の企業や自治体との協働によるデュアルシステムを地域の人々が生涯にわたって学び、成長し続けるためのプラットフォームに発展させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元の企業や自治体との連携が鍵。デュアルシステムなど、現在の須坂創成高校の取組を継承・発展していく</li> <li>○ 商品開発やスマート農業など、地域の人と一緒に学ぶ</li> <li>○ 地域の専門的知識を持った人が教えることもあってよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域をフィールドとした学びを推進するコンソーシアムの構築</li> <li>○ 地域連携コーディネーターの設置</li> <li>○ デュアルシステム、共同研究、共同開発等の実施</li> </ul>
学びの環境・その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校内にとどまらず色々なバックグラウンドを持つ人々と連携、交流することは非常に有意義</li> <li>○ 多様な分野を知り、つなぎ、新たな価値を生み出せる、人やアイデアをつなぎ、新たな価値を生み出せる人材が育つ場所になるとよい</li> <li>○ 専門性を活かして取り組める文化活動部（プログラミングや機械工学、起業、農業など）が充実することも、学校の魅力になる</li> <li>○ 地域に開かれ、地域の方も一緒に学ぶことができる学校</li> <li>○ 地域にこだわるよりも社会とのつながりを持つことが大切。学校外に活動を求める必要性を持たせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域との協働による生涯学習の拠点</li> </ul>